



留学生国知版 vol.17

COSMOS

JAPAN / KOREA / CHINA / MALAYSIA / BANGLADESH
INDONESIA / TAIWAN / VIETNAM / THAILAND
AUSTRALIA / INDIA / MADAGASCAR / FRANCE

4月14日、4月16日熊本大地震が発生、大変な被害を受けました。この情報はすでに世界中に伝わっています。5月連休に、シリコンバレーを訪問してきましたが、その際、数人から飯塚は大丈夫かと質問されました。

飯塚だけに留まっていたのでは、なかなか感じえませんが、国、人種は異なっても、人々、世界は一つに向かっているのだと感じました。特にシリコンバレーでは、いろんな人種が共存共働しています。

飯塚市では、2大学があり、幸いにも沢山の留学生が学んでいます。彼等を通し彼等の国のことを知ることが出来、更には彼等から日本のことを、その国に伝えることが出来ているのです。

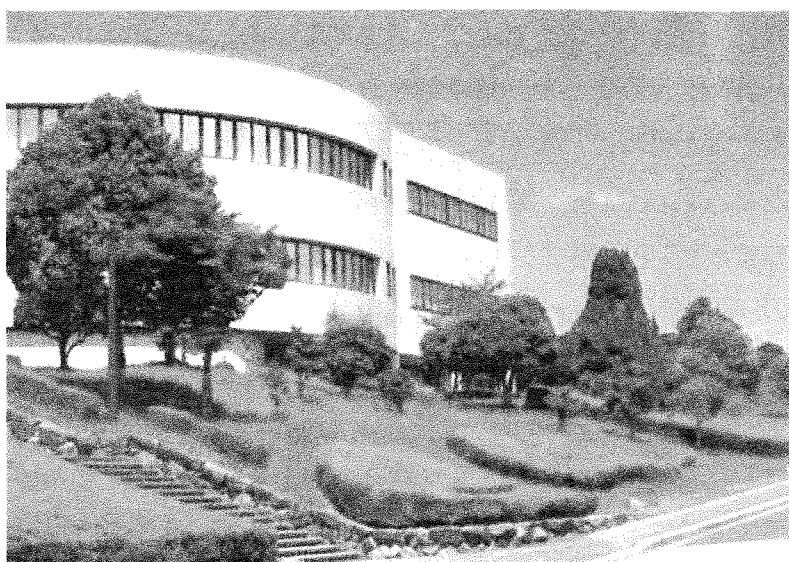
この世界への橋渡しをしてくれる留学生が気持ちよく勉学、研究に努力すると同時に、日本人学生、飯塚市民と広く深くかわり日本の文化、習慣を知って下さい。さらに、留学生の将来のためにも、日本語をマスターして帰国してほしいものです。

飯塚友情ネットワーク

会長 縄田 修



サニーベール市長と



国立大学法人 九州工業大学

ご挨拶

九州工業大学情報工学部長

梶原誠司

飯塚友情ネットワークの皆様には、日頃から九州工業大学情報工学部で勉学に励む留学生に多大なご支援を賜り、ありがとうございます。情報工学部は昭和 61 年（1986 年）に全国で初めての「情報工学部」として設置され、情報技術の基礎およびその様々な学問分野への応用について教育・研究を行うことで、情報化社会の発展を担う人材を輩出してきました。設立当時は、ちょうどコンピュータが世の中に普及し始めたところで、コンピュータを使いこなすことや高性能なコンピュータを作ることが求められていました。その後コンピュータの性能は飛躍的に向上し、家電、携帯電話、自動車など身の回りの製品にも多く使われるようになり、私たちの生活を変えてきました。また、インターネットの急速な普及により、情報のやりとりのスピードが格段に速くなり、世の中のグローバル化が急速に進展しました。



世の中のグローバル化は、社会に大きな変革をもたらしています。大学も例外ではありません。私が情報工学部に着任した 1996 年当時、本学が海外の大学と締結している国際交流協定数は 7 力国 16 件でしたが、現在は 25 力国 100 件になろうとしています。国際交流協定を締結すると、本学の学生と協定締結先の大学の学生のどちらも、留学先の大学に授業料を納付しなくても数週間から 1 年の短期間、留学して学ぶことができます。日本政府や経済界からの支援の充実もあり、海外の大学に留学する本学の学生数は、飛躍的に増加しています。また、情報工学部で学ぶ留学生数も増加の一途をたどっており、しばらくはこの増加傾向は続くと予想されます。日本の国の少子化もあって、優秀な留学生の獲得を積極的に行っていますが、留学生の多くは欧米の先進国でなく、中国や東南アジアなど新興国の出身者です。来日時に日本語が使えない学生も多くいます。生活習慣が母国とは大きく異なり、生活にとまどうことも多々あるかと思います。飯塚友情ネットワークの皆様のご支援は、情報工学部で学ぶ留学生が飯塚で円滑に暮らすためにだけでなく、日本が好きになり、帰国後も日本の応援団となって活躍するための第一歩になります。

今後とも、ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年度 学 年 暦 (情報工学部)

区 分	事 項	期 日 又 は 期 間
前 期	春季休業	4月1日(金)～4月6日(水)
	新入生オリエンテーション	4月4日(月)、4月6日(水)
	入学式	4月5日(火)
	前期授業期間(試験期間含む)	4月7日(木)～8月12日(金)
	第1クォーター授業期間 (試験期間含む)	4月7日(木)～6月8日(水)
	学生定期健康診断	4月4日(月)、4月5日(火)、 4月6日(水)
	開学記念日	5月28日(土)
	前期・第1クォーター予備日	5月30日(月)
	第2クォーター授業期間 (試験期間含む)	6月9日(木)～8月12日(金)
	夏季休業	8月15日(月)～9月9日(金)
	前期再授業期間	9月12日(月)～9月23日(金)
後 期	後期授業期間(試験期間含む)	9月26日(月)～2月24日(金)
	第3クォーター授業期間 (試験期間含む)	9月26日(月)～12月2日(金)
	後期・第3クォーター予備日	11月8日(火)～11月9日(水)
	臨時休業	11月18日(金)
	第56回工大祭	11月19日(土)～11月20日(日)
	臨時休業	11月21日(月)～11月22日(火)
	推薦入試Ⅰ	11月24日(木)～11月25日(金)
	第4クォーター授業期間 (試験期間含む)	12月5日(月)～2月24日(金)
	冬季休業	12月26日(月)～1月4日(水)
	平成29年度大学入試センター試験	1月14日(土)～1月15日(日)
	後期・第4クォーター予備日	2月3日(金)、2月9日(木)
	修士論文発表会(授業は全て休講)	2月13日(月)～2月14日(火)
	卒業論文発表会(授業は全て休講)	2月22日(水)
	学位記授与式	3月24日(金)

九州工業大学情報工学部 留学生名簿

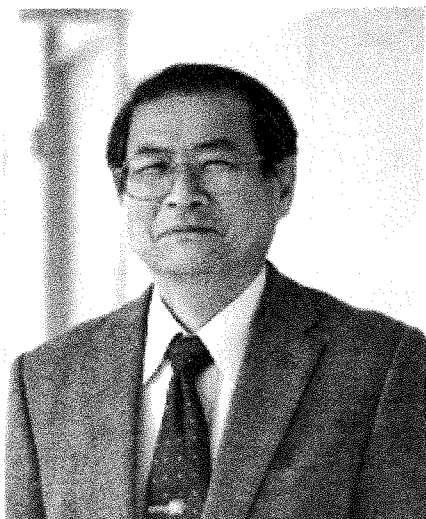
平成28年5月

氏 名	性別	国 籍	所属学科	学年
学部生				
ム ボム	男	韓国	電子情報工学科	2年
趙 亜楠	男	中国	システム創成情報工学科	2年
プリタ インディラ 村	女	インドネシア	知能情報工学科	3年
ヌルアイヤ ビンティ イスマイル	女	マレーシア	電子情報工学科	3年
ノール ファウスィヤ ビンティ エハマト ハヤ	女	マレーシア	電子情報工学科	3年
シソムブソ カウー	男	タイ	機械情報工学科	3年
ムハマト バシール ビン ムハマト アズライ	男	マレーシア	生命情報工学科	3年
キム ジェソ	男	韓国	知能情報工学科	4年
アイン ナジュラ ビンティ サリア	女	マレーシア	電子情報工学科	4年
エハマト イワソティ ビン イスマイル	男	マレーシア	機械情報工学科	4年
ウソ ジョヒョソ	男	韓国	機械情報工学科	4年
大学院生（マスター）				
李 焱臻	男	中国	情報創成工学専攻	1年
鄭 志超	男	中国	学際情報工学専攻（システム創成）	1年
イ スス	男	韓国	学際情報工学専攻（システム創成）	1年
ティータイ プラマンホル	男	タイ	学際情報工学専攻（機械）	1年
ラハニラ アハ トラ	男	マダガスカル	先端情報工学専攻（電子）	1年
デウイ ノルソッタ アジダ ビンティ アブドゥル アジ	女	マレーシア	先端情報工学専攻（知能）	1年
カン ヒョソ	男	韓国	学際情報工学専攻（生命）	1年
任 開源	男	中国	先端情報工学専攻（電子）	1年
周 峙桐	男	中国	学際情報工学専攻（システム創成）	1年
アジフ エザ プラタ ヌソ	男	インドネシア	情報創成工学専攻	1年
エハマト アリムディン ビン エハマト アリ	男	マレーシア	情報創成工学専攻	2年
カヒニサ ビンティ アハマト デニ	女	マレーシア	先端情報工学専攻（電子）	2年
アニザ ファデユリア	女	インドネシア	情報創成工学専攻	2年
シティ アディンティア アカ デサリ	女	インドネシア	情報創成工学専攻	2年
ロザリタ アムソ	女	インドネシア	情報創成工学専攻	2年
劉 徳臣	男	中国	情報創成工学専攻	2年
秦 浩育	男	中国	学際情報工学専攻（システム創成）	2年
アグイナッシュ デグ カマントリ	男	インド	学際情報工学専攻（機械）	2年
ドゥイリヤ マキソ	女	インドネシア	情報創成工学専攻	2年
孫 志邈	男	中国	情報創成工学専攻	2年
大学院生（ドクター）				
柳 植龍	男	中国	情報工学専攻（システム創成）	1年
ワラホソ チンサティ	男	タイ	情報工学専攻（システム創成）	1年

蔡 岳勲	男	台湾	情報工学専攻（機械）	1年
ナットソン ブン プトゥック	男	タイ	情報工学専攻（機械）	1年
章 御聡	男	中国	情報工学専攻（情報創成）	1年
ジラパン インティム	男	タイ	情報工学専攻（機械）	1年
アストリ マリア クルニワツティ	女	インドネシア	情報工学専攻（電子）	2年
プラカシャ 邦ハリ ラメジウダ	男	インド	情報工学専攻（機械）	2年
トラン ティ タオ グイン	女	ベトナム	情報工学専攻（電子）	3年
グイン ベト ハ	男	ベトナム	情報工学専攻（電子）	3年
李 虎軍	男	中国	情報工学専攻（生命）	3年
シャム ウル ハサン	男	バングラデシュ	情報工学専攻（生命）	3年
李 富強	男	中国	情報工学専攻（情報創成）	3年
マデッラー	男	インドネシア	情報工学専攻（情報創成）	3年
ロミ ヤニ プムラン	女	インドネシア	情報工学専攻（情報創成）	3年
曾 鑫	男	中国	情報創成工学専攻	3年
アグサム	男	インドネシア	情報システム専攻（電子）	3年
ナ スティナ	男	インドネシア	情報システム専攻（電子）	3年
セグット ドゥアンチャン	男	タイ	情報システム専攻（電子）	3年
サモソク チュムカモン	男	タイ	情報システム専攻（機械）	3年
カルディ ニルマント チョントロネジロ	男	インドネシア	情報創成工学専攻	3年
＊研究生・特別聴講学生・特別研究学生・短期訪問学生＊				
王 超	男	中国	先端情報工学専攻（知能）	
林 牧晨	男	台湾	情報創成工学専攻	
グイン マン フィ	男	ベトナム	システム創成情報工学科	
ナム グイン テー キャン	男	ベトナム	電子情報工学科	
グイン タン トゥン	男	ベトナム	システム創成情報工学科	
トラン ウィエット フィ	男	ベトナム	システム創成情報工学科	
フィソ ジャ ファット	男	ベトナム	システム創成情報工学科	
ニウソ キャサリン ノックニ	女	オーストラリア	人文社会系	
ポール フルリー	男	フランス	学際情報工学専攻（機械）	
ズオン タン ニア	男	ベトナム	情報工学専攻（電子）	
ディン ティ キム フオン	女	ベトナム	情報工学専攻（電子）	
ファクス ビン モハマト ナル	男	マレーシア	先端情報工学専攻（知能）	
シャムス ビン モハマト	男	マレーシア	情報工学専攻（システム創成）	
ハリス ビン モハマト ナル	男	マレーシア	学際情報工学専攻（システム創成）	
バズリ ビン トミ	男	マレーシア	学際情報工学専攻（システム創成）	
シャヤク チヤキ	男	インド	先端情報工学専攻（電子）	
ディマス アディプトラ	男	インドネシア	学際情報工学専攻（システム創成）	



近畿大学産業理工学部



学部長挨拶

産業理工学部 学部長 荒 川 剛

近畿大学産業理工学部は、1966年に近畿大学第二工学部として創設されて以来、時代と社会の要請に応じて改組・改変を続け、1985年に九州工学部、2004年に産業理工学部と学部名称を変更し、2016年には創立50周年を迎えます。

近畿大学の建学の精神「未来志向の実学教育」と「人格の陶冶」のもと、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」の育成をめざして、生物環境化学科、電気通信工学科（※1）、建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科の5学科13コースを設置しています。

2014年には、地域・社会の諸問題を能動的に学修する場「地域連携研究センター」を開設して、医学から芸術まであらゆる分野を網羅する近畿大学のスケールを活かした連携研究を加速させているほか、TOEIC・TOEFLなどの資格取得もめざした実践的英語教育の強化、海外語学研修や留学の推進など、グローバル社会においても実力を発揮できる人材を育成しています。

その結果は、全国屈指の就職実績にも表れており、2015年3月卒業生の就職率は94.6%（※2）、就職者の4割（※3）が上場企業、優良企業、公務員に決定しています。

近畿大学産業理工学部は、文系・理系の分野を横断した実践的かつきめの細かい学びの環境を提供し、文理協働の発想を持った教養ある社会人を育成しています。

本学部で学び、福岡から日本、世界へと羽ばたきましょう。

（※1）2016年4月、電気通信工学科から名称変更

（※2）就職者298人÷（全卒業生342人-大学院進学者27人）

（※3）就職者298人中120人

学年暦

平成 28 年度 近畿大学 産業理工学部 学年暦

前期

4月	1日(金)	年度始め・新入生学力テスト
	4日(月)	新入生ガイダンス
	5日(火)	入学式、安全運転・防犯講習会
	6日(水)	在学生ガイダンス、就職ガイダンス (2～4年) 教職ガイダンス (4年)
	7日(木)	前期授業開始、桜まつり (1年)
	9日(土)	健康診断
	23日(土)	火曜日振替授業日
	30日(土)	金曜日振替授業日
5月	7日(土)	水曜日振替授業日
	21日(土)	木曜日振替授業日
6月	25日(土)	月曜日振替授業日
7月	21日(木)～27日(水)	前期定期試験
8月	5日(火)～	夏期休暇

後期

9月	～12日(月)	夏期休暇
	13日(火)	在学生ガイダンス
	14日(水)	後期授業開始
10月	8日(土)～9日(土)	大学祭
	15日(土)	月曜日振替授業日
11月	5日(土)	創立記念日
	12日(土)	木曜日振替授業日
12月	10日(土)	金曜日振替授業日
	24日(火)～	冬期休暇
1月	～9日(月)	冬期休暇
	10日(火)	授業再開
	17日(火)～23日(月)	後期定期試験
3月	中旬	卒業式

近畿大学 産業理工学部 平成28年度留学生名簿

《産業理工学部》

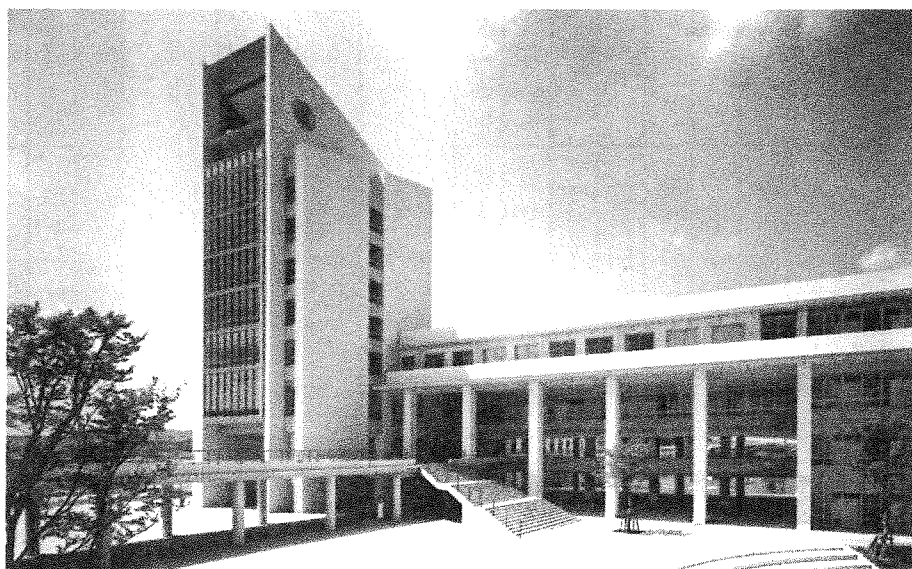
氏名	カナ	国籍	学部	学科	コース	学年
于靖暉	ウ セイキ	中国	産業理工学部	生物環境化学科		1
劉光青	リュウ コウセイ	中国	産業理工学部	生物環境化学科		1
肖立艷	ショウ リエン	中国	産業理工学部	建築・デザイン学科		1
梁簫宇	リョウ ショウウ	中国	産業理工学部	経営ビジネス学科		1
DINH QUOC ANH	デイン ウォック アン	ベトナム	産業理工学部	電気電子工学科		1
平 寧	ヘイ ネイ	中国	産業理工学部	生物環境化学科		2
任 翔	ニン ショウ	中国	産業理工学部	建築・デザイン学科	デザインコース	2
林 弘逸	リン ホンイ	台湾	産業理工学部	建築・デザイン学科	デザインコース	4

《大学院 産業理工学研究科》

氏名	カナ	国籍	学部	学科	コース	学年
邱俊彰	キョウ シュンショウ	台湾	産業理工学研究科	産業理工学専攻	社会環境科学コース	M2
呂欣樹	ロ キンジュ	中国	産業理工学研究科	産業理工学専攻	社会環境科学コース	M2

《虎尾科技大学からの短期留学生》

氏名	カナ	国籍	学部	学科	コース	学年
賴 決任	ライ ヤンレン	台湾	産業理工学部	電気電子工学科	機械與電腦輔助工程系	履修生
李 政哲	リー ゼンズー	台湾	産業理工学部	情報学科	資訊管理系	履修生
吳 翊煒	ウー イーイン	台湾	産業理工学部	経営ビジネス学科	應用外語系	履修生
林 彥廷	リン イエンティン	台湾	産業理工学部	建築・デザイン学科	休閒遊憩系	履修生
游 宗豪	ヨウ ゾンハオ	台湾	産業理工学部	経営ビジネス学科	工業管理系	履修生
鄭 伊庭	ゼン イーティン	台湾	産業理工学部	建築・デザイン学科	休閒遊憩系	履修生



公立大学法人 福岡県立大学

ご挨拶

国際交流センター長 松浦 賢長



飯塚友情ネットワークの皆様におかれましては、常日頃より、福岡県立大学の事業にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本学留学生に対しまして、いつもさまざまな留学生向けの事業へお招きいただき、感謝申し上げます。

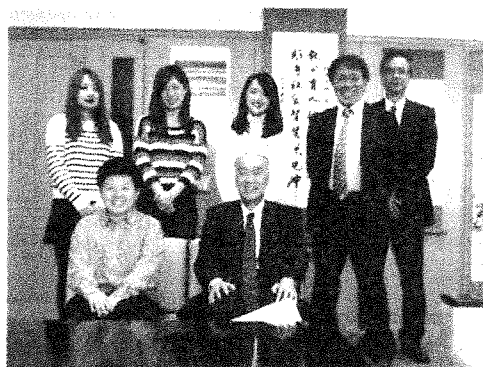
さて、福岡県立大学では、アジア諸国の協定校との交換留学、英語圏での海外研修や語学研修、学内での留学生との交流などを進めており、国際感覚を身につけられる環境の整備を進めております。

まず、外国からの受入留学生に対する取り組みですが、地域の国際交流団体の方々や日本人学生等と連携し、福岡・九州にも興味関心をもってもらえるように、市の料理教室や留学生交流会などのさまざまなイベントへの参加を実施しております。留学生と市民が交流をすることで、国際交流や地域の歴史、異文化への理解を深めてもらい、より豊かな留学生活が送れるような取り組みを進めております。

次に、海外の大学との協定等についてですが、今年度、新たに中国吉林大学珠海学院と韓国威徳大学と交流協定を締結し、現在、中国3校、韓国3校、タイ1校と交流協定等を結んでおります。

さらに、夏季休暇中にはイギリスでの海外語学研修や春季休暇中には韓国での短期文化研修を実施するなど、本学の多くの学生が積極的に異文化交流に参加できる取り組みも実施しております。

本学では、このような取り組みを通じて、グローバル社会、特に東アジア地域で国際的に活躍するために必要とされる多様な文化への理解力やコミュニケーション能力の高い人材の育成を行っております。



福岡県立大学 2016（平成 28）年度 学年暦

【前期】

4 月 1 日	（金）	前期開始	1 月 5 日	（木）	授業再開
4 月 4 日	（月）	入学式	1 月 13 日	（金）	全学休講
4 月 5 日	（火）	オリエンテーション	1 月 14 日	（土）	センター試験
4 月 11 日	（月）	前期授業開始	～1 月 15 日	（日）	
5 月 10 日	（火）	開学記念日	1 月 20 日	（金）	公共・形成卒論提出日
8 月 2 日	（火）	前期定期試験	2 月 4 日	（土）	大学院入試（春季）
～8 月 8 日	（月）		2 月 7 日	（火）	人間社会学部卒論発表会
8 月 6 日	（土）	オープンキャンパス	2 月 8 日	（水）	後期試験期間
8 月 9 日	（火）	夏季休業	～2 月 14 日	（火）	
～9 月 30 日	（金）		2 月 15 日	（水）	春季休業
9 月 30 日	（金）	前期終了	～3 月 31 日	（金）	

【後期】

10 月 1 日	（土）	後期開始	2 月 25 日	（土）	一般入試前期日程
10 月 3 日	（月）	後期授業開始	3 月 12 日	（日）	一般入試後期日程
10 月 15 日	（土）	大学院入試（秋季）	3 月 17 日	（金）	卒業式
11 月 12 日	（土）	オープンキャンパス	3 月 31 日	（金）	後期終了
11 月 12 日	（土）	大学祭（秋興祭）			
～11 月 13 日	（日）				
11 月 26 日	（土）	推薦入試			
12 月 23 日	（金）	冬季休業			
～1 月 4 日	（水）				

福岡県立大学 平成 28 年度参加留学生リスト

No.	国	母国大学	福岡県立大学	氏名
1	中国	南京師範大学	人間社会学部 1 年	李 晗（リ カン）
2	中国	南京師範大学	人間社会学部 1 年	周 潔（シュウ ケツ）
3	中国	南京師範大学	人間社会学部 1 年	谷 俊儀（コク シュンギ）
4	韓国	大邱韓医大学校	人間社会学部 1 年	卞 俄璣（ピョン アジン）
5	韓国	大邱韓医大学校	人間社会学部 1 年	李 知珉（イ ジミン）
6	韓国	大邱韓医大学校	人間社会学部 1 年	朴 淨薫（パク ジョンフン）
7	韓国	大邱韓医大学校	人間社会学部 1 年	孫 智賢（ソン ジヒョン）
8	韓国	大邱韓医大学校	人間社会学部 1 年	成 多永（ソン ダヨン）

計 8 名

異文化交流と日本語講座

留学生フロント代表

野 口 博 子

留学生フロントの主な活動は地域に在住の留学生及び外国人のための日本語講座です。
ボランティアで運営しておりますので日本語を学びたい方はどなたでも歓迎いたします。

〔日本語講座〕

場 所：二瀬公民館

授業日：毎週土曜日（第4土曜日は休み）

午後2時～4時

クラス（ひらがな・初・中級）

他団体主催の行事に参加しています

○国際共生サロン

場 所：二瀬公民館

日 時：第1土曜日 午後4時～5時

○飯塚友情ネットワーク主催の交流会参加

○料理教室

飯塚国際推進協議会主催

年数回

連 絡 URL <http://ryugakuseifront.web.fc2.com/>

日本を知るため、日本人と接するためには日本語が必要です。さらに、将来自分を大きくするためにも日本語をマスターしておく大変有利です。留学生フロントでの日本語教育及び日本人との交流にぜひ参加して下さい。

“留学生よ、日本語をマスターしよう！！”

（飯塚友情ネットワークより）

飯塚国際交流推進協議会

自 2016 年 4 月 1 日

至 2017 年 3 月 31 日

I 国際理解推進事業

1 飯塚国際交流市民のつどい 2016

お国料理バザーは、今年度も「筑前の國いづか街道まつり」と同日開催することで、多くの交流・集客を図ります。

また、スピーチコンテストは、多くの日本人小中高生や留学生が参加できるよう、筑豊地域の関係者に広報を行います。

① お国料理バザー

時期：2016 年 10 月 23 日（日）

場所：イイヅカコスモスコモン（筑前の國いづか街道まつりフードコーナー）

概要：外国料理の販売

② スピーチコンテスト

時期：2016 年 10 月～12 月

場所：イイヅカコミュニティセンター

概要：高校生による英語スピーチ（最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名）

中学生による英語スピーチ（最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名）

留学生による日本語スピーチ（最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名）

小学生による発表

2 ホームビジット事業

例年、日本人受け入れ家庭（ホストファミリー）の確保が難しいため、本協議会の会員の協力を図り、円滑な事業実施に努めます。

①募集

(1) 期間 ・外 国 人：2016 年 7 月

・ホストファミリー：2016 年 8 月

(2) 方法 ・外 国 人：大学及び関係団体等を通じて募集

・ホストファミリー：市報、ホームページ及び関係団体等を通じて募集

②説明会

ホームビジット事業に興味・関心がある方を対象にセミナーを随時開催し、円滑な事業実施を図ります。

③ 2015 年度報告会及び 2016 年度対面式

時期：2016 年 9 月～10 月

④ 2016 年度交流会

時期：2017 年 2 月～3 月

3 お国料理教室

日本人向けに 2 教室、外国人向けに 1 教室を行う予定です。

Ⅱ 生活支援事業

1 外国人講師による外国語初級講座

時 期：[前期] 5 月～9 月（全 15 回）

近年、申込者が減少し、最低開催人数 5 名に到達しないことが多いため、前期のみ

期 間：第 1、2、3 週の月・土曜日

講 座：韓国語講座

受講料：11,000 円（資料代 2,000 円を含む）

定 員：各 15 名

2 国際共生サロン

目的：情報交換、簡易な生活相談、市報等の情報提供など

日時：毎月第 1 土曜日 16:00～17:00

場所：二瀬公民館

3 広報活動

○会報 2016 年 12 月発行

○市報いづか「国際ひろば」2016 年 6 月～2017 年 2 月（全 5 回・隔月掲載）

Ⅳ 国際交流推進協議会 10 周年記念事業【予算】

- | | |
|-------|---|
| 1 日 時 | 平成 28 年 9 月 25 日（日）14 時～17 時
《講演・留学生数名による発表（日本との文化の違い等）・交流茶話会》 |
| 2 場 所 | イイヅカコミュニティセンター 4 階 学習室 401 |
| 3 講 師 | 文科省国際教育課専門官 酒井 佐知子さん |
| 4 テーマ | 未定 |
| 5 規 模 | 100 人～200 人程度 |
| 6 広 報 | 市報・飯塚市ホームページ・チラシ・ポスター・市内の大学への案内 等 |
| 7 その他 | 飯塚市合併 10 周年冠事業として行う |

スピーチコンテスト2015

中学生の部 優秀者

My Dream 私の夢	おおくら こころ 大倉 心
-----------------	------------------

I like to use a computer. I want to make a lot of good computer programs in the future.

When I was little, I've learned English Conversation for one year. I thought that English was very interesting then. So I was interested in it. I've used English in various places since then.

I study English every day. Do you know why I study English hard every day? It's because I want to make computer programs for the people around the world. I think that English is needed to make the programs for the people in foreign countries. So, English is very important for me to realize my dream.

Before, I didn't know what I should do. But, I have a good idea now. It is MUSIC! Why? I think that music is a common thing all over the world. I love music. I sing songs at school almost every day.

I like "Vocaloid". I knew "Vocaloid" about 4 years ago. It means "like a vocal". Do you know "Hatsune Miku"? She is a virtual idol. Her voice is made by a computer.

I sometimes make and sing songs when I feel happy or sad. So, my friends sometimes ask me to make original songs. I enjoy doing it very much.

One day I thought that I want to make computer programs of music like "Vocaloid". I hope that all the people who listen to my music enjoy it. I hope that everyone communicates to each other by my music. I want a lot of people in various countries to sympathize each other by listening my music. So, my music will make world peaceful. So, My music can make a lot of smile all over the world.

Thank you for listening.

I love the beautiful nature in Japan.

I lived in Saitama nine years ago at that time.

Saitama was full of nature.

In spring, beautiful flowers were in bloom in the field and in summer there were many insects. I could hear the frogs croaking.

In fall, I could see the golden yellow ears of rice swaying in the field.

In winter, the trees were preparing to welcome the coming season.

But suddenly, construction began and a lot of new apartment buildings appeared.

The scenery that I loved so much was vanishing gradually. I was so sad.

When I was eleven years old, I moved to Iizuka city.

Iizuka city was full of nature.

There were beautiful trees, mountains and rivers .

I didn't want that beautiful scenery destroyed.

Iizuka city holds many events targeted at environmental conservation.

I joined one of these events. That was Eco-sta Iizuka in 2012.

Schools, local people and companies presented their activities for the welfare of the environment.

I reported about recycling used paper.

In addition, I planted salmon fries in Kengeiji river with members of the Ryuo-Yamasato-Kawanokai.

I want to keep this river clean and I hope the salmon will come back again.

I took part in the clean-up campaign and cleaned my local area.

To reduce the garbage, I didn't use plastic bottles but use my own water reusable bottle.

When I go shopping at the supermarket, I bring my eco bag.

From now on, I'm going to do volunteer work aimed at the environmental conservation such as collecting rubbish and cleaning Onga river.

Life cannot exist without nature.

It is essential to our existence and therefore, humans must do more to protect our planet and its nature.

That's why I want to be a biologist in the future.

So I'll study more about nature and I will do my best for conservation within our society.

My Dream 私の夢	かわかみ あいこ 川上 亜衣子
-----------------	--------------------

Hello, everyone.
 I'm going to tell you about my dream.
 Do you know who scriptwriters are?
 Scriptwriters are writers for movies and dramas on TV.
 I want to be a scriptwriter.
 Do you know why I want to be a scriptwriter?
 Scriptwriters are very cool for me.
 I think when you watch dramas, you watch actors and actresses carefully.
 But I pay attention to their lines.
 I'm very interested in lines.
 I like Nojima Shinji the best.
 He is a Japanese scriptwriter.
 He is an attractive scriptwriter.
 He wrote many scripts such as " 49 ", " ASHITA MAMA GA INAI ",
 " ONIICHAN GACHA " and " ARUJA-NON NI HANATABAWO ".
 They are wonderful.
 I was very excited.
 Nojima Shinji makes dramas I want to watch.
 I like to watch his dramas very much.
 He is great because he supports actors and actresses in the background.
 He makes actors and actresses shine.
 I want to make stories like him.
 Some people go to a training school to be scriptwriters.
 Some people try to make moving scripts.
 But only a handful of people can be scriptwriters.
 It is very difficult for me to be a scriptwriter right now.
 But I never give up.
 My family and friends support me a lot.
 I love them very much.
 I want to make stories about family and friendship in the future.
 Thank you for listening.

スピーチコンテスト2015

高校生の部 優秀者

Like Superman
スーパーマンのように！

ふるた めい
古田 芽衣

“Look ! Up in the sky!

It's a bird.

It's a plane.

It's Superman.”

These are the famous words from Superman. Oh, how I wish I could transform myself into a being like Superman in a minute.

When I was a child, I was not as good a girl as my parent expected me to be. My mother was divorced and had to bring up her two children by herself. I was not helpful, being rebellious and selfish. She used to be worried about me all the time. At that time I knew in my heart that I was wrong and was giving her a lot of trouble. But I couldn't change my way of living. So I had a strong desire of transforming myself into a good girl.

This chance came when I entered my high school. I decided to turn over a new leaf. I went into, so to speak, a small telephone box like Clerk Kent and changed myself. An entirely new person appeared from there. First thing I did after I entered my high school was to show my gratitude from the bottom of my heart. My mother always made my lunch and sent me to school by car. So I never forgot to say “thank you,” every time she did something for me. She has never given up on me for hopeless. Not only to my mother but also to my grandparents, my friends and my teachers, I always said “thank you ” for their kindness.

Another thing that enabled me to transform myself is the dream I have had since I was a small child. I don't know why, but I have a strong natural affection toward all animals, whether they are cats, dogs, lions, or seals. I can't resist the temptation of touching them, once I see them. So my future dream is to become a veterinarian.

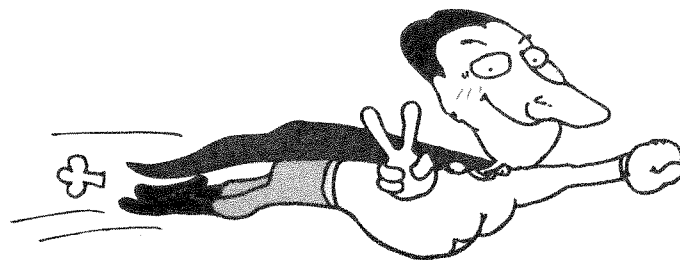
I didn't know how difficult it is to become a vet. You have to study very hard to achieve this dream. Therefor I changed my way of studying completely. I never depended on memorizing when I studied, instead I asked myself why. I tried to find theories for everything I learned. When something was beyond my understanding, I lost no time in asking my teachers about it. In this way I managed to find a lot of satisfaction in studying. And this new attitude in

learning contributed to my transformation. Yes, from here, too, an entirely new person appeared.

But I can't say I had fully succeeded in transforming myself. Far from it. Sometimes I tried to go back to my former self. Sometimes I couldn't take it any more. And I found myself complaining as I used to do. Thus I have changed my way of thinking. When I find some unreasonable things, I try to express my feelings honestly. When I can't accept what other people say, I make it a rule to ask them why. Then I can understand them more deeply. And it helps me to be free of stress. This way of thinking has encouraged me to transform myself.

Before I finish this speech, I would like to refer to my dream again. When it comes to affection towards animals, nobody is my equal. When I touch dogs and cats, I feel very invigorated. When I go to a zoo and am surrounded by animals, I feel relaxed and joyful. I heard that George Bernard Shaw, a Nobel Prize winning writer, once said the words to the following effect. As long as a man continues to kill animals, a war will never be eradicated. These words can be taken in this way, too. If we stop killing animals, a war will be eradicated in this world. I would like to contribute to promoting happy life of the people in this world, by transforming myself into a being like Superman.

Thank you for listening.



Have you ever thought about the meaning of the word, “Arigato?” There may be a lot of interpretations for this word. My interpretation is quite unique. We tend to complain about hardships we face. But in my case, I am usually grateful for the hardship I face because it gives me a chance to grow up. I have had such an experience in Guam. But before I begin my story in Guam, let me talk a bit about myself.

When I was small, I tried to hide myself in the safe surroundings protected by my parents. I didn’t want to break my shell and go out of it. I was an obedient girl, doing everything my parents wanted me to do. But I couldn’t bring myself to do anything more than that. Yes, I was a reserved and passive girl at that time. But when I was in the 5th grade, my parents said to me, “We are going to Guam next year.” I felt like I was being expelled from my secure paradise. Well, Paradise Lost.

The hot weather, the blue sky, the blue sea, and free atmosphere. But I couldn’t take them as they were. In Guam I still adhered to the Japanese way of thinking. Neither the sky nor the sea was so blue to me. The largest barrier there was the language, English. The school I went to was for Japanese. But I had never heard English spoken so fast. I couldn’t understand it at all. And the people there. They were so carefree. I couldn’t understand why they behaved like that.

But before I knew it, I got used to the hot weather, blue sky, the blue sea and nice atmosphere. English that seemed spoken so fast sounded nicely. I began to talk with my friends in English. There was one episode that showed the change in my way of thinking. I participated in a summer camp under the guidance of University of Guam. One day during the camp, we went hiking on a mountain, and came down to a quite wide river. There was no way but to wade across the river. Oh, we had a hard time. Our clothes and bags became completely wet and muddy. But it was such an exciting adventure to us. Oh, my goodness. Walking about ten minutes after that, we found a strong and splendid bridge over the river. Several months ago, I used to grumble about this kind of thing. But then, I was satisfied with the adventure I had gone through.

After three years in Guam, I returned home and unknowingly went back to my protected, comfortable world. I was considered to be a reserved and passive girl like before. And contently I hibernated for one year.

After that, my high school life began, and I was thrown into a new circumstance: new friends with high aims and new teachers with first-class teaching methods. Here I asked myself, “What do I want to do in the future?” This question revived my memories in Guam. My ability of speaking English came back to me at that moment. And I transformed myself back into a positive and carefree type of person. I began to participate in various kinds of activities, for example volunteer

activities and research groups. I had a chance to do a homestay in Australia, experiencing foreign culture again and enjoying speaking in English again. After that, I studied for the English proficiency test, grade pre-1. Surprisingly, I succeeded in passing the test.

Now about my future aim. I would like to do something for Guam. I hear that this island has many problems, such as the way to protect native culture and language, and the way to keep peace and order. I am going to major in international affair, focusing on education. From this point of view, I would like to contribute to Guam. Using this bilateral relationship, I would like to tackle international affairs in a much broader point of view, while working for the United Nations.

The hardship in Guam has brought me a lot of good luck. I should say “Thank you for the hardship, Guam!” “Arigato”

Thank you for listening.



Kairos' forelock カイロスの前髪	あだち たつや 足立 達哉
-----------------------------	------------------

'Have you ever seen this picture? This is a picture of Kairos, who is referred to as a god of good luck. Look at this picture closely. He has no hair on the back part of his head. His hair is only on the front part of his head. So you have to be very careful when you try to catch him. If you fail, there is no way to catch him from behind. Because there is no hair for you to catch him by. Yes, good luck is fleeting and disappears in an instant. Here in my speech, I'm going to talk about how I tried to catch Kairos by the forelock.

When I was a small boy, my curiosity drove me everywhere, say, into bushes, into ponds, or into rice fields. I couldn't go back home straight from school. The road I used to go along was full of wonders. Frogs, spiders, dragonflies, and what not. Yes, it took me a long time to get back home. One day I saw something moving under a bush. I didn't hesitate to jump into it and tried to catch something moving under it. Can you imagine what I held in my hand? It was a snake. I took it to my house, and tried to watch him for a long time. And when I was unguarded, I noticed a bite on the finger. "Ouch! It did hurt." When I was disappointed, my mother said to me, "Oh, How lucky you are! Snakes are considered as a symbol of good luck." I was very surprised to hear that. My curiosity and fearless positive act brought me good luck.

Let me give you another instance of how I tried to catch Kairos. When I was a junior high school student, I had a big dream of being a top tennis player in this district. Naturally I joined the tennis club, when I entered the school. But I was disappointed to know that the members of the club were not so eager to practice. They seemed to be a group of players killing time together. So I decided to change this atmosphere. What I did first was to exchange cheerful greetings and smiles. And another thing that I kept in mind was not to blame the players who couldn't play well. In due course, everything in our club began to change. Everybody began to play eagerly. In the end, our team did quite better compared with the results of previous years. Through this experience I thought I acquired leadership, which, in turn, brought me nearer to the god of Kairos.

An unforgettable thing happened during the last summer vacation. I thought it was the moment when I grasped Kairos by the forelock. I participated in Global Leader Summer Camp. High school students in the Kyushu area attended the camp, and this aim was to prepare us for a role as a young leader in the future. At the camp Mr. Atuyoshi Saisho was invited and spoke to us as a guest speaker. He spoke about his experience of Bangladesh. Their educational system faced two difficulties; firstly the number of teachers was scarce and secondly children were living far away from school. His solution was to go there and introduce video lessons which helped to solve the two issues at the same time. He was only 26 years old. He was ten years older than I, and was working for people of other foreign country with a global point of view. I really admired him. This meeting

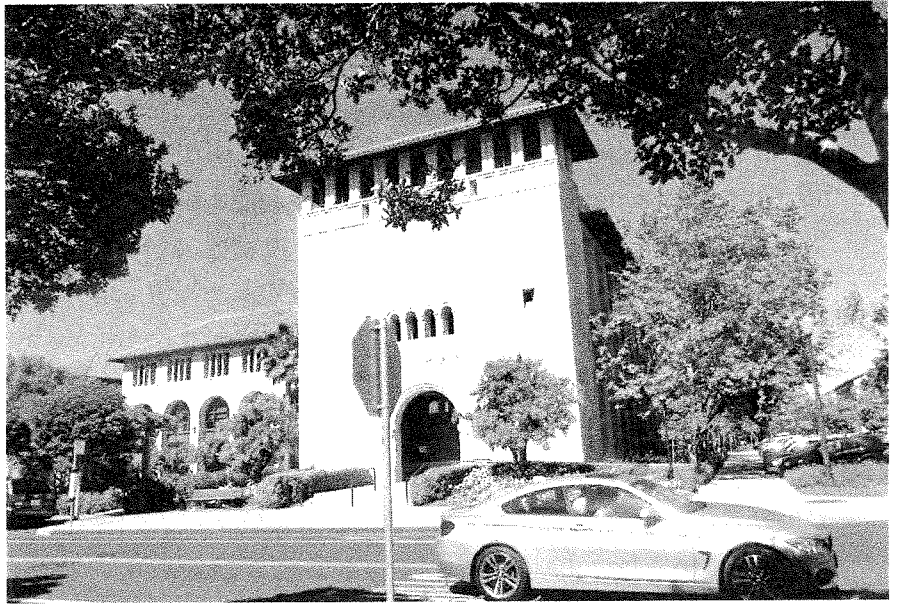
with Mr. Saisho gave me a chance to grasp the Kairos' forelock.

I hadn't had any clear idea of my future before I met him. His quick action and wide knowledge stimulated me to a clear vision for my future. In the past I studied very diligently to get good scores in tests. I had no aim in my studying. Now I have changed my view of life. I'd like to do something for other people in a world-wide scale like him. I'd like to acquire state-of-the art technology, through which I hope I will contribute to people in the world.

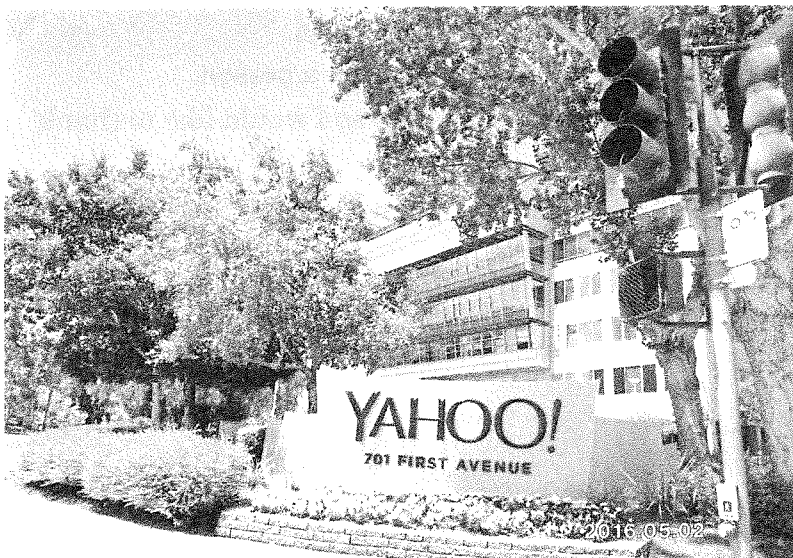
Curiosity, leadership, and a chance meeting given to me as gifts from above have enabled me to grasp Kairos' forelock and I hope this will surely help to make my dream come true.

Thank you for listening .





サニーベール見聞録



Have you ever been to America?

I went to America during summer vacation.

I learned and experienced many things there.

At first, I was nervous about going abroad, but my feelings changed.

They became feelings of pleasure day by day. At last, I left for America.

When I arrived in America, I used English while shopping.

It was a great experience to visit “Google “and Stanford university.

I did a homestay for five days.

At first, I was nervous, but my host family was very kind. So, I was relieved.

After finishing a welcome party, I went to their house.

During my stay, they took me to many places and I experienced various things.

We went to a baseball stadium to watch a game.

There were many people and I was very excited to see the differences between Japanese baseball fans and American ones.

But it was very dirty in the stadium after the game finished.

It was a big difference between Japan and America.

I also went to an amusement park and enjoyed it a lot.

At that time, I became used to communicating in English.

The next day, I went to school. The class was very difficult for me.

Many students spoke to me, so I was very happy.

Japanese people are shy and passive but American people are active.

I felt the difference.

The happy time passed in a flash and I had to say goodbye.

I was sad and cried, but I promised “I’ll be back for sure.”

I learned and experienced so many things during my stay in America.

The most precious thing to me was that I could meet new people, especially my host family and friends. This made me grow as a person.

I am very sure that this experience will help my future a lot so I would like to thank everyone.

I also would like to study English harder to communicate with various people.

I would like to learn cultures of other countries.

Thank you.

What's your goal ?

I have a goal. It's to be a globally active person.

I believe discrimination and prejudice are born by not understanding other people.

“Discrimination and prejudice” are “SABETSU TO HENKEN” in Japanese.

To lose those, it is important to understand and accept the thoughts of other people.

Not only Japanese people but also people around the world.

Examining that, I know there are people who know a world that I don't know.

Also, there are people who don't know the world I know.

This applies to many people. Many people say that the world is connected by information technology.

But it's only in the developed countries. I don't think the world is connected.

To make the world connected, I want many people to understand different thoughts and cultures.

I believe that English is useful to understand those things.

However not many people can use English.

So I want to use English to connect the world for the people.

This idea changed my way of thinking. So, I want to be a globally active person.

I have been to America for nine days this summer.

I had many chances to talk with many people; clerks, classmates and my host family.

There are many things in common between American and Japanese students.

We like the same things, for example, animations, sports, and so on.

But I couldn't tell them about Japanese culture.

They know Japan but they don't know Japanese culture. They are not interested in it.

So, I need communication skills to tell it in natural English. I'm going to study English harder.

My experience in America gave me confidence and made me positive

After that, I came back to Japan.

I was able to talk with people who I have never talked to before.

I also became used to foreign ways of teaching.

I will make use of this experience and make efforts to approach my goal.

Thank you for listening.

I went to the U.S. to study English during the summer vacation.

I learned a lot there.

There are many differences between Japan and the U.S.

What surprised me the most was the U.S. school.

First, students don't have their own classroom in the U.S.

They have to move from room to room during break times.

Break times are only 3 minutes!

When the chime rings for the end of the class, students leave the room even when the teacher is still talking.

It was very interesting but that's impossible in our school!

Second, there are not many school rules.

They don't have school uniforms.

Most students bring their own cell phones and girls wear nail polish.

They bring or buy snacks then eat them during the break time between 2nd and 3rd period.

After eating snacks, they move to the next room.

Third, they take classes positively.

They seemed to be enjoying the classes.

Of course, nobody slept there.

When the teacher asks for an opinion, they all raise their hands, then give their opinions in order.

In our school, most students study hard and do club activities and student council eagerly

But some students cannot concentrate during the lessons and doze off.

I noticed students in the U.S. learn by themselves.

I learned an important thing from them.

To learn is to change.

From here on, I'll continue my English studies.

In the future, I think I want to learn like them in an American university.

Thank you for listening.

My experience 私の体験	さかい しゅんすけ 酒井 俊輔
-----------------------	--------------------

Hello, everyone.

Seeing is believing.

I went to the U.S. during summer vacation.

I saw many things and I had many precious experiences.

The most memorable thing was my homestay in Sunnyvale City, California.

There were 5 people in my host family.

There were a father, a mother, two sons and a daughter.

My host father guided me through the big house.

I noticed I entered their house without taking off my shoes.

Of course, I knew in the U.S. they don't take off their shoes while in their house.

But for the first time, I entered a house with my shoes on!

It was uncomfortable for me.

I was very nervous so I couldn't sleep well the first night of my homestay.

The next day, I got up around 7.

My host father left home then.

I heard he was an office worker and his office was near his house.

Why did he leave home so early?

Then he came home around 3:30.

3:30!

He explained this to me slowly.

He works with office workers in New York.

There is a 3 hour time difference between California and New York.

That's why he works from 6 in the morning to 3 in the afternoon.

I already knew about time differences.

But then I was able to feel them through my host father.

After talking, he asked me " Let's eat out ! What do you want to eat, Shunsuke? "

I said " Well ... " I couldn't decide.

He said gently " In the U.S., you should tell your opinion clearly. "

So I made up my mind. I will tell my opinion clearly.

" Where do you want to go tomorrow ? " my host father asked.

I said " Supermarket ! "

He said " Good job, Shunsuke ! "

I had a courage to communicate in English.

I want to communicate in English with people all around the world through my experience in the U.S.

Thank you for listening.

2015年
スピーチコンテスト
留学生の部



みなさん、「いいねボタン」を知っていますか。インターネットで、「好き」とか「共感できる」などの意志を表すための「ボタン」のことです。私は、先月、中国で人気のウェブサイト「知乎」で、500人の人から「いいね」をもらいました。さらに100人からはコメントももらったのです。どうして、こんなにたくさんの人が私に共感してくれたのでしょうか。私は、そのことについて、みなさんにぜひ紹介したくてこのスピーチ大会に出ることを決めました。

私が答えたのは、「日本はいったいどこがいいのか」という質問に対してです。7年間の留学生活を通して、見たこと、感じたこと、私の身の回りで起きた小さな出来事を素直に述べました。今から、サイトで述べたことの中から2つ紹介します。

まず、一つ目は、日本の環境が非常に良いところです。日本のトイレがとても清潔で「音姫」までついているおかげで、いつでも気持ちよく安心してトイレを使うことができます。そして、数年前に、道路で見かけたことが今でも印象に残っています。それは、散歩させていた飼い主が犬の糞をトイレットペーパーに包んで袋に入れたことです。犬の糞は帰ってからトイレに流すそうです。このいい習慣のおかげで、私はこれまで道路で犬の糞を踏みつけたことがありません。

二つ目は、アルバイト先のスーパーで知り合った日本人とのふれあいについてです。弁当屋さんの平田さん夫婦には、「陳さん、あずきご飯を食べたことがありますか？あずきご飯を炊いたので、友達と一緒に食べてみてくださいね」と言ってお赤飯をいただきました。そして、帰国するときには、「陳さんのお父さんとお母さんに日本のお菓子を食べさせてみたい」と言って、日本のお土産を一杯持たせてくださいました。また、日本のお母さんのような中嶋さんには、去年の冬、とても綺麗なブランケットと靴下を編んでもらいました。「陳さんへ、ブランケットを編んでみました。風邪を引かないように」という手紙と一緒に受け取ったときの感動は今でも忘れられません。その冬は、私にとって一番暖かい冬になりました。

同時に、なぜ日本の環境が綺麗なのか、なぜ日本人が親切なのか、改めて考えてみました。その答えは、どちらも相手の身になって考え、人のことを大事にしているからではないでしょうか？綺麗な環境やなにげない人間関係の背後にあるのは、他の人も気持ちがよい環境づくりを心がけている日本人の優しさでした。これは、日本の最も魅力的なところだと私は思います。

私の話に100人の方がくれたコメントは、日本に対する憧れの声ばかりでした。例えば、「日本に住んでみたい」「日本へ旅行したい」「あなたの日本での生活に憧れている」「日本の人は優しい」などです。

そして、私の話を聞いて、500人もの方が日本のことを好きになってくれたことを本当に心から嬉しく感じました。これからも中日の架け橋になって、日本の良いところを一つ一つ中国の人達に伝えていきたいです。そうすれば、私だけではなく、もっと多くの方が日本のことを理解でき、好きになるだろうと信じています。

皆さんの悩みはなんですか？誰でも一つや二つの悩みはありますよね。留学生にも、留学生だからこそその悩みがあります。例えば、言葉が通じなくてコミュニケーションが取れない、食べ物が口に合わない、文化のギャップが大きいなど、留学生の悩みも人それぞれです。実は、私の悩みは、「日本人に間違われる」という悩みです。今日は、私のちょっと変わった悩みについて、皆さんにお話ししたいと思います。

私と日本、そして日本語との出会いは、13年前にさかのぼります。私は小学校2年から5年までの4年間、大阪の大淀小学校で過ごしました。初めは日本語での挨拶がやっとで、最初の三か月はとても苦労しました。でも、クラスのみんなや先生が言葉の壁を気にせず私を受け入れてくれたおかげで、学校では教えてくれない言葉や文化が体になじんでいきました。家に帰ると漢字の練習や教科書の音読練習など自分でも一生懸命がんばったことを覚えています。そのおかげで、一年後には日本人と変わらないぐらい、言葉の壁にぶつからずに勉強ができました。タイに帰った後も日本語を忘れないように色んな方法で日本語の勉強を続けてきました。

日本で出会った方々のおかげやこれまでの努力で、自分で言うのもなんですが、私は留学生だと思えないほど日本語で自由にコミュニケーションがとれますし、しかも同じアジア人なので初対面ではよく日本人と勘違いされるほどです。「実は留学生なんです。」というとびっくりされることがよくありました。すぐに大学のクラスにとけこめたので、友達作りも日常生活でも問題はありませんでした。これだけ聞くと「いいことばかりやん！なに悩んどん??」と言われるかもしれませんね。

でも、日本語が「留学生にしてはうまい」ゆえの悩みが出てきました。なぜなら、みんな私を日本人として接するからです。例えば、大学のテストにでてきた「最小公倍数」という単語の意味を勘違いして解けるはずの問題を間違えてしまいました。また、授業後の五分で書く感想文も私には難問です。そこで日本人と同じように扱われて、専門用語や難しい日本語を使われるとついていけません。このスピーチも何度も色んな人に意見をもらって、原稿を完成させました。また、接客のアルバイトでは、お客さんの早口や方言で困ることもありますが、一番戸惑うのは接客文化の違いです。ある時、ラストオーダーの前にお茶を出してしまい、店長に「お茶を先に出したら、お客さんに帰れといってるのと一緒にやないか」と注意されました。つまりみんなから日本人として扱われるので困っています。ほかの留学生から見れば確かにこれは贅沢な悩みかもしれませんが、私にとっては大きな悩みです。

日本に来るまでは「日本語は問題ない!大丈夫!」と思っていましたが、日本人のように日本語を使って深く考えたり、周りの人と自在に会話をして楽しんだりするにはまだまだ努力が必要です。このように、留学生としてはちょっと変わった悩みをもっている私ですが、日本語を上手く話せるようになったことを本当に誇りに思っています。日本語のおかげで、九工大に留学

し勉強できるようになりましたし、日本人の友達も沢山できました。日本語と言うコミュニケーションツールをこれからどう活用するかが大事だと思います。「日本人に間違われる悩み」をバネにして、これからもっと日本語の勉強を頑張って、日本の文化も理解し、さらに「日本人に間違われるタイ人」を目指していきたいです。

ご清聴ありがとうございます。

立ち止まれば、見えてくるもの	イ スюн
----------------	-------

私は毎日忙しい日常生活の中で立ち止まれば、見えてくるものについてスピーチをしようと思います。韓国で大学生活をした時は1限から8限まで授業に出て終わったら塾に行ったり、課題をしたり、両親の仕事を手伝っていると一日の時間が足りないくらい早く過ぎました。それで“なぜ?私はいつも休むこともできなくてこんなに忙しいだろうか?”と思いながらストレスもたまって世の中を憎みもしました。それとともに以前よりも怒りっぽくなって身も心も無気力になった私を見た母が「立ち止まれば、見えてくるもの」という本を薦めてくれました。韓国で若者の間に人気がある僧侶が書いた本で名言を介して人生の知恵を悟らせてくれる本です。この本を通して自分自身を再び振り返るようになって反省もしながらこれから私の人生にとってどのような態度を取りながら生きて行くべきか深い悟りを得るようになりました。

この本で得た最も大きな悟りは心を現在において休むことです。私がいつも忙しいと思っていたのは、世の中が自分を忙しくさせたからではなく、私が自分の心を忙しくさせたからです。自分の心が休めば、世の中も休むようになっているということと私の心が幸せなら世の中も幸せだということを感じるようになりました。これをきっかけに、私の人生をちょっと立ち止まってみようと考えました。ちょっと休んで行けば前だけ見ていた私が周りを見ることが出来る余裕が生じるのではないだろうか?という考えで日本に留学を決心しました。今、日本に来て6ヶ月くらい経ちました。一日がゆったりとしてすべてを置いてただ‘私’を向いて‘私’だけを見て楽しみながら生きている今が最初で最後の‘私’を振り返る機会と思いながら留学生活をしています。日本に来る前の私は自分が何を面白がって何に意味を感じているか、きちんと経験したことがなかったです。ところが日本に来てから日本の友達と一緒にボランティア活動もして学校で日本人学生と同じ授業を受けて旅行も行っけてバイトもして日本の文化も体験してみるなど多様な経験をやってみたら、このようにしばらく休みながら周囲の人と一緒に楽しんでいろんなことを一緒にしていくことこそ私にとって一番大きな幸せということを感じるようになりました。

競争社会の中でいつも他人と自分を比較して前だけ見て生きてきた私でしたが、私を満足させる人生を生きてどのようなことでも余裕を持って楽しみながらすると人生が豊かになるということをこの留学生活を通じて悟り、多くの人達と交流しながら考え方と世の中を見る目も広がりました。皆さんも前だけ見て走って行かずに、時々立ち止まって周りを見回してこの瞬間に充実感を感じながら人生を楽しんでみてはどうでしょうか。それは人生においてとても有益なことだと思います。

今まで私のスピーチを聞いていただきありがとうございます。

こんにちは、私は今日「私にとっての日本は」の首題でお話したいと思います。私はこの学校に来る前に日本の千葉にある日本語学校に通いました。その時、会える日本人といえば、学校の先生だけでした。また、事務局にいる先生方はみんな韓国人でしたので、一般の日本人とは知り合う事が出来ませんでした。ですので、日本で勉強したけれどあまり日本人について理解できず、日本や日本人に対して、誤解が生まれてしまいました。それは、“日本人は本音と建前があり、冷たい人達だ”と感じたことです。最近韓国と日本の関係が悪くなったため、あまり日本について良く思えなくなってしまいました。また、歴史的な問題もあるので、日本に来る前の私にとって日本は少し冷たくて怖い国という印象をもってしまいました。それで、日本への留学が決まった時は、少し心配になり、私一人で外国でうまく生活出来るか、又、文化の違う国に十分に慣れる事が出来るかが心配でした。その心配の一方で、日本の大学や、すべてが日本語で行われる授業、部活など、色んな事に好奇心を強く感じもしました。私は、このように複雑な心境で日本へやって来たのです。

大学ではすずかけ寮と言われる女子寮で住むことになりました。私の住む部屋は二人部屋で、他の施設内は共同で使っています。

そのおかげで寮の皆と仲良くなる事が出来ました。授業の時間割を組み建てる時もみんな自分の事のようにやさしく教えてくれ、サークルも自分たちがやっている部活を紹介してくれたり、又、学校内にどんなサークルがあるのを教えてくれたりもしました。そのおかげで、私はバレー部とテニス部など四つのサークルに入りました。韓国では体育の授業も、受験勉強中心の内容で、体を動かす機会はあまり無かったので、バレーやテニスは最初に全できませんでした。他の日本の学生は小学生の頃からずっとやってきているらしく、皆上手で、全然できない私のためにバレーやテニスの練習の際に一つ一つ教えてくれました。部活の色んな行事にも参加できるよう案内してくれたり、分からない日本語や間違った日本語を正しく直してくれて、友たちと同時に日本語の先生にもなってくれました。このようにみんなと生活してみて、今まで私の中にあった不安や誤解がだんだんと無くなって行きました。バレー部の合宿は時間が合わなかったため参加できませんでしたが、テニス部の合宿には夏休み中に行ってきました。皆、昔から親しかった友たちのように接してくれ、合宿で初めて会った人達もみんなやさしくしてくれました。体育会の時は運動があまりできない私を応援してくれたり、競技などのやり方を教えてくれました。又、合宿だけでなく、練習の時にもいつも笑顔で接してくれます。私にニックネームもつけてくれて道で会ったら遠いところからでもおおきい声で私を呼んで挨拶してくれたりします。

そして、学校の学生以外に福岡県立大学には留学生を支援してくれる市民団体があります。“福岡県立大学と共に歩む会”と呼ばれています。この団体は私たちが田川市に、また日本に、早く慣れるよう、うまく生活が出来るように、支援してくれます。留学生の歓迎会やアルバイトの世話、また観光等、色んなお世話をしてくれます。美味しいものを食べに連れて行ってくれたり、パーティに連れて行ってくれたりなど、留学生がこの日本で楽しく過ごせるようにお手伝いをしてくれています。

また、学校にも留学生や日本の学生を支援してくれる学生支援班（がくせいしえんはん）があり、色んな事を支援してくれ、私たちのために色々と気を配ってくれます。

私は日本へ来る前には分かりませんでした。むしろ、分かることができませんでした。日本人達は冷たくは、なかったのです。

それらは、ただ、自分が作ったイメージで、“日本人は冷たい! ”、“いつも本気ではない”と、自分が思っただけでした。ここに来てはっきり気づく事が出来ました。そして、今回、自分で経験する前に頭で判断することはいけないことだという事を悟ることも出来ました。もしかして、ここにいる留学生の皆さんは何か偏見をもっているのでしょうか？皆さんもぜひ偏見を持たずに色々な事を積極的に経験、そして、挑戦してみてください。

最後に、今、ここにいる私は一人ではないです、

ご傾聴ありがとうございました。



皆さん、こんにちは。私は中国、西安市から参りました王心蕊と申します。昨年10月に来日し、現在、飯塚高校の第2学年特別進学クラスで、日本人の同級生たちと共に、勉強にクラブ活動にと忙しい日々を送っています。日本に留学してから一年が経とうとしています。最初の半年は、日本語学習に集中し、特別進学クラスへ入る準備をしました。そして、今、一人の飯塚高校生として日本人生徒と全く同じ環境で、高校生活を送っています。そこでは留学生として特別扱いを受ける事はありません。私はこのことを心地よく感じますし、もっと頑張らねばと励みにもなります。

さて、本日は、「日本と中国の絆について」と題して、私の感想を含め、日中両国の文化交流の歴史を振り返ってみたいと思います。私が本格的に日本語を習い始める前、日本というと、多くの中国人が連想するように、日中戦争を第一に思い浮かべるでしょう。中国では、今でもテレビや映画で、日中戦争を題材としたドラマが放映されています。それらのドラマは軍国日本をイメージさせるものが多いように思います。しかし同時に、多くの中国人は、日本が戦後、高度経済成長を遂げ、世界で注目されるほどの国力を持っていることも知っています。また、日本人のイメージとして、真面目で礼儀正しく、よくお辞儀をする姿が思い起こされます。これらの日本や日本人に対する一般的印象は、私自身が持っている日本のイメージとあまり変わりはありません。しかし、今、日本に住み、日本人と接していくうちに、私の認識が如何に浅いか知ることになりました。

日本の文化発展の歴史を遡ると、太古より、異文化を積極的に受け入れ、それを元のものより、もっと良いものに作り直す傾向があることに気がつきました。例えば、陶磁器の産地としては中国の景德鎮が有名ですが、当時、黄金よりも高価な値段でヨーロッパに輸出されていたそうです。その価格があまりに高いので、貿易の中継地として佐賀県の伊万里で、景德鎮の偽物が作られるようになり、やがて、技術的および芸術的にオリジナルを超えてしまうまでに洗練されたものになったそうです。現在の有田焼の柿右衛門がヨーロッパの陶磁器に与えた影響は多大なものがあります。

中国文化の影響と言え、最大なものは、何と言っても漢字でしょう。この漢字にしても、近代になってからは影響の方向が変わってきます。日本はアジアで初めて近代化に成功した国として知られています。近代は新しい思想をアジア諸国に吹き込みました。新しい思想には新しい言葉が必要です。日本は、漢字で、これらの新しい言葉を作ったのです。今私たちが当たり前のように使っている、「経済」「政治」「法律」「民主主義」などの言葉は、日本人が作り、中国に逆輸入されています。今日、中国を始め、いわゆる漢字圏の国々では、社会学や人文科学の分野で使われる専門用語の約70%は日本産だそうです。現在、日本のアニメが世界を魅了していますが、そのアニメで使われる言葉も、現代中国では普通に使われています。例えば、「次元」「写真」「人気」「萌え」「腹黒い」などです。これらは文化交流の成果だといえますし、今後、もっと深まる日中相互の文化交流の架け橋になると思います。

日中の文化交流は、言葉のみならず、多面的に広がる可能性があります。先日、中国政府主催の「中日国民交流友好会」が東京で開催されました。これは日中両国の友好関係の歴史に新たなページを開くものになり、日中関係が世界に向けて明るい未来を示す良い機会になりました。日中の絆が更に強く結ばれ、我々、日本語を学ぶものとして、日中友好の未来を信じつつ使命を果たしていきたいと思っております。ご清聴、ありがとうございました。



皆さんこんにちは、私は中国、太原市から参りました、孔澤奇と申します。今日ここでスピーチをするのは二度目です。昨年、来日早々、日本語があまりよくわからなかったので、英語によるスピーチに出場しました。あれから1年、私は努力を重ね、日本語能力検定1級に合格し、日本語にもまあまあ自信が持てるようになりました。それで、今回は日本語によるスピーチに挑戦です。

私は、今、飯塚高校で勉強しています。学校生活はもちろん、寮生活に於いても、同一のルールの下、日本人と全く変わらない生活を送っています。そこで気がついた中国と日本の学校教育の違いを皆さんにお話ししようと思います。

中国の学校は一言で言って、「知識を学ぶ所」であって、それ以外の事はあまり重要視されません。私はその事に対して疑問を持った事はありませんし、学校で勉強するのは当たり前の事だと思っていました。ところが、今年9月、初めて飯塚高校の体育祭に参加し、衝撃を受けました。大げさな言い方かもしれませんが、私の人生観が変わりました。中国の学校にも運動会がありますが、日本のクラスマッチのような規模で、クラス対抗で勝敗を決め、クラスの友好を計るものです。飯塚高校の体育祭は、クラスや学年をバラバラにし、赤、青、黄の三つのブロックに編成し、互いに競い合うのです。その集団全体を指揮するブロック長、集団の士気を高める応援団長、また各ブロックの士気を鼓舞する応援旗の制作責任者のマスコット長などが集団の組織をまとめていくのです。学校の先生方は、学年集会などの話し合いには立ち会いますが、ほとんど口を出しません。集団をまとめ、話し合い、計画を立てるなど全て生徒自身が行いました。私も青ブロックの一員として参加しましたが、いつの間にか、留学生と日本人生徒という違いを超えて、皆で頑張って優勝したいと心の底から思うようになりました。この間の私の心の変化はすごいものだと思います。

青ブロックの応援団長は女子でしたが、彼女は自信に満ち、まさに飯塚高校の校訓である、熱、力、誠を体現していました。彼女の演舞を企画する芸術的センスは抜群で、応援の最終段階で、全員で扇形になり肩を組んだのは圧巻でした。体育祭で全ての演技を完璧に表現できるよう、生徒たちはグラウンドで繰り返し練習を続けていました。私は寮で晩ご飯を食べながら、彼らのかけ声を聞きました。集団を指導する前に、指導する立場のものが率先して練習をする、その責任感の大きさに感動しました。実は、中国でも集団で演技する事はありますが、日本の学校のように、放課後、自分の自由時間を割いてまで練習することはありません。これは学校の習慣のようなもので、日本の学校はクラブ活動や進学クラスの課外活動など、授業時間外で活動することが当たり前になっています。中国の学校は、はじめに言ったように、勉強中心です。生徒の評価は学力を表す成績表だけで、生徒の個性や趣味はあまり反映されません。日本の学校は、勉強ばかりでなく、クラブ活動や体育祭などの学校行事で自己表現ができます。自分の好きな分野で頑張り、その努力が評価される日本の学校教育は素晴らしいと思います。日本のアニメが国籍や民族を超えて世界の人々の心をとらえている一因は、学校現場に於ける勉強以外で頑張る生徒の姿や、勉強以外の様々な青春の思い出だと思います。生徒は夢を持ち、

努力を通して、その夢を実現させ、達成感を味わいます。その達成感と青春の思い出こそが、人生の様々な困難に立ち向かっていく力になるのだと思います。

しかし、私は中国の教育が間違っているとは思いません。中国の高校生は、毎日、本を壁のように積み上げて、朝から晩まで勉強します。青春の良い思い出なんかありません。しかし、これも時代の流れで仕方の無い事だと思います。中国は15億人の人がいて、より高い学歴を得る事でより良い生活が保証されるとあって、受験競争は激烈を極めています。学校時代、ちゃんと勉強していなければ、明るい未来は無いと信じるが故に、中国の学校の先生たちは私たちを厳しく指導します。中国の学生は、日本の学校の生徒のように趣味やスポーツで自分を輝かせる機会はありませんが、その情熱を勉強に向けて、将来の夢の花を咲かせます。中国の教育も、人を育てる道の一つだと思います。私は自分を育ててくれたこの教育に感謝しています。

今、私は留学生として、中国と日本、両国の教育を受けられることはとても幸運な事だと思います。確かに、現在、日中両国の間には政治的に意見の相違があります。こういうときだからこそ、学校教育の現場から、留学生の交流などのような民間外交を進め、お互いの違いにばかり目を向けるのではなく、理解し合える点を多く見つけるべきだと思います。

本日は、ご清聴ありがとうございました。



主要メンバー：

理事長 縄田 修

副理事長（留学生担当） 千々和敬明

副理事長（青少年育成担当） 兼事務局長 正田英樹

理事（企画・渉外担当） 橋本博之

理事 宮嶋寛幸 藤木秀憲

監事 宮嶋正夫

監事 榎本広明

顧問 麻生 泰（九州連合会会長）

顧問 片峯 誠（飯塚市教育長）

顧問 綿貫雅一（元米州開発銀行 セクター・ナレッジ副総裁総局地域統合）

顧問 マーク・カトウ（サニーバール姉妹都市協会会長）

後 援 団 体

九州工業大学、近畿大学、教育委員会、飯塚市小中学校 PTA、飯塚国際化推進協議会、飯塚医師会、飯塚病院、ロータリークラブ、ライオンズクラブ（飯塚、穂波、筑豊、庄内、飯塚竜王）国際ソロプチミスト飯塚、飯塚青年会議所、ボーイスカウト・ガールスカウト、SGC クラブ、飯塚高校、飯塚商工会議所

平成 28 年度 特別会員

山本信行、野田孝親、牛島未津代、越智拓生、松隈隆和、柴田 康、齊藤守史、柴田 務、正田義勝、正田英樹、荘田朋子、田中康一、千々和敬明、津川 信、中嶋文行、縄田 修、本田宜久、林 郁雄、林田恵貴、樋口誠司、栗原公司、宮嶋正男、藤木徹雄、松浦尚志、清水修治、松口武行、秋元正幸、元山福仁、森田 潤、橋本博之、嶺 敬二、茅島 勲、神田 徹、沢田清司、角田信昭、深見 強、嶋田吉勝、田代健次、有吉 崇、有田栄公

平成 28 年度 一般会員

飯田勝司、飯田昭子、石松 孝、大藪裕司、越智宏二郎、小野正行、梶原秀彦、加藤完治、崔 哲洵、坂口文隆、篠原聖子、江本 純、武本勝伍、田中鈴子、田中俊司、田中祥視、玉置一貴、辻塚弘行、縄田秀幸、信川康弘、林田朝晴、肘井 勲、深野正文、豊永敬之、福盛由美、藤田道代、松田幸子、峯 正俊、丸野陽一、和田光晴、亀井裕司、林田俊一、高橋 剛、吉原正和

平成 28 年度 賛助会員

青山堅一、荒木祐美、池田香南子、井上敬次、井上有比古、今宮章紀、上野美奈、牛島辰正、宇都宮健、浦部裕子、荻あすか、奥野美恵子、小田島佳美、越智恭平、斧山京子、梶原道生、木村理恵、志田三奈、平塚利恵、呉田智美、小島 恵、末吉美映、砂田数枝、高下貞臣、田中貴奈、田村圭介、団野鋭一、飛永京美、野見山浩晃、野見山隆一郎、林田めぐみ、原田信恵、福井和代、藤川 彩、古本百合子、堀 孝子、本田 愛、眞角優子、松田暢子、三浦美穂、八木正隆、安永直美、柳田善之、山城輝生、芳中 智、吉村孝子、渡辺清隆、渡部 徹、カチューンルンアンパナート



編集者、発行者： 飯塚友情ネットワーク、留学生フロント

連絡先： 〒820-0044
福岡県飯塚市横田334 縄田 修
電話番号 0948-24-2303
(ナワタ消化器外科医院気付)

Published by : Iizuka Friendship Network & Ryugakusei Front

Contact Person : Osamu Nawata
334 Yokota, Iizuka, Fukuoka
Tel. 0948-24-2303 〒820-0044

E - m a i l : nawata@f5.dion.ne.jp

発行日 平成28年6月